

那須平成の森の新たな挑戦！ Part.2！

◆今年度7月に実施したイベント◆

『源流の森を楽しむ日』～ナカマルシェ × アクティビティ × 那須平成の森～

地域の皆様との初の大型コラボ企画「源流の森を楽しむ日」を、去る7月28日に開催しました！

那須平成の森は那珂川の源流であり、「ナカマルシェ」は自然志向のお客様を主なターゲットに、那珂川流域で開催している朝市です。今回のコラボ企画では、那須地域で活躍中のアクティビティ事業者によるツリークライミングやオリエンテーリングに加え、電気自動車「ソルテラ」をご提供いただいた栃木スバルと那須平成の森インタープリターによるトークショー。更に「源流の森」に着目したミニプログラムを実施！1日たっぷり、様々な角度から「源流の森」を楽しめるイベントになりました！

当日はナカマルシェのファンの方をはじめ、多くのお客様にお越しいただきました。お客様は、午前中マルシェやアクティビティを楽しみ、自然素材のランチを堪能。午後はミニプログラムに参加されるなど、1日ゆったりと自由な雰囲気の中で過ごされていました。様々な事業者の方と協働することで、那須平成の森の新たな可能性を感じられる実りある1日となりました。

地域の多くの方々のご協力があり実現した今回の「源流の森を楽しむ日」。ご協力いただいた皆様に心から感謝するとともに、今後も様々な方との繋がりを大切にしながら「また行きたい！」と思っていただけの魅力あふれる場にしていきたいと思っています！



ツリークライミング実施の様子



『株式会社 National Park Solutions』ボランティアイベント～登山道整備 / 近自然工法～

「Parks Project」とは、アメリカ発の国立公園の保全活動などを行うプロジェクトです。その一環として、那須平成の森フィールドセンターや那須高原ビジターセンターでのアパレルショップの展開や、その売り上げの一部を森の保全やインタープリターの活動支援に寄付いただいています。このたび、そうした取り組みに加え、フィールドでのボランティア活動を行っていただきました。

今回の活動は、山形県で活動されているNPO法人「飯豊朝日を愛する会」の皆様にもご協力いただき「近自然工法」を学びながら、ボランティアの方々や、地域の有志の皆様と遊歩道の整備を行いました。

「近自然工法」は『生態系の復元』を主眼に置き、道の浸食原因や、水の流れ、自然環境の成り立ちを考えながら、歩道としての歩きやすさも考慮した工法です。また、土砂などの自然物が雨水などの流れで、土壌が自然に収まり安定するためのきっかけ作りでもあります。

今回の遊歩道整備は、数ある工法の中から『束ねた笹を敷き詰め土砂で覆う方法』と『倒木を使って下側から「くノ字型」「逆くノ字型」に木を組み、枯木や落ち葉、土などを敷き詰め段差をなくす方法』で行いました。

雨によって流れた土砂が笹や落ち葉に受け止められ、雨水はそのまま流れていく構造です。組んだ枯木には、滑りにくいよう切れ込みを入れるなど工夫を加えました。散策された方々からも「歩きやすかったよ！」といった、嬉しい感想をいただけています。

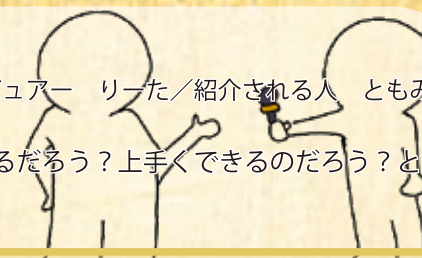
今後もボランティアの皆様や、地域の皆様と共に森を守り、育んでいくことを念頭に、安全第一で、楽しく気づきのある活動を継続していきたいと考えています。



インタープリター他己紹介 (インタビュアー リータ／紹介される人 ともみん)

柔和な雰囲気であ来館者を癒してくれるともみん。

けれど、負けず嫌いの努力家で、いつもどうしたらもっと良いものにできるだろう？上手くできるのだろう？と全力で試行錯誤している姿に頭が下がります…。



ガイドで大事にしていることは？



自然はわからないこともあるけれど、だからこそロマンがあって面白いです。参加したお客様にはそういったことを含めて自然のことを「楽しい」「面白い」「もっと知りたい」と感じてもらえるような、参加した後にもっと自然を好きになってもらえるようなガイドを心掛けています。また、自分の生活との繋がりも感じてもらいながら、“自分が心地よく感じる自然との距離感”についても考えるきっかけになればとも思っています。

今はまっているものは？

昔から鉱物などの石が好きです。小さい頃はキラキラしたものが好きでしたが、最近はキラキラしていないものも含めて石自体がどのようにして生まれるのかということも気になっています。(いつか、ガイドの中でそういったことをお話しできればいいな～とも思っています。)



ともみんの誕生石が一番の気に入っています。

インタープリターの、ガイド以外のお仕事 ～枯損木撤去編～

前号は園内の草刈り作業、森の維持管理をご紹介しました。引き続き、今号でも維持管理作業の紹介になりますが…。今回は力仕事にもなる「枯損木撤去」について取り上げます！

■枯損木撤去で気を付けていること

前号は草刈りを紹介しましたが、那須平成の森では、散策されるお客様の安全確保の観点から、歩道に掛かる枯損木を撤去しています。作業の際は「自然の移ろい、保護の観点」にも留意して行っています。

理由は「枯損木にも森の中で役割がある」から。生活サイクルの中で、枯木を必要とする生き物が存在するためです(キノコや昆虫、キツツキなど)。枯損木をそのままにすることで、森の生態系が維持され続けていくのです。

そして、この枯損木は、我々スタッフ(チェーンソーの有資格者)が基本的に行っています。余りに大きなものは業者さんに発注しますが、それ以外はできるだけ我々が行います。仕事で筋肉や体力がつくので、一石二鳥！と思ってやっています(笑)。※チェーンソーだけでなく、ノコギリでできるものはノコギリで撤去します。



チェーンソーで伐採している場面



▲お客様の安全のため、切り倒した枯木を散策路の脇へ移動させている場面